



参議院議員
比例代表(全国区)

はるこ ありむら 治子



国政レポート



全国の皆さま、こんにちは! いつも温かいご支援を賜り、本当にありがとうございます。

第2次改造・第3次安倍内閣で6つの分野を担当する国务大臣を務め、昨年10月、その役を完遂することができました。大臣在任中、記者会見や国会論戦、担当法案の成立など、緊張感に満ちた13か月の間、全国の同志の皆さまからのエールに大きな勇気をいただきました。

女性活躍担当大臣として、「女性活躍推進法」を成立させることができ、少子高齢社会の中で、引き続き、安倍内閣が取り組む「一億総活躍」に引き継ぐことができました。

少子化担当大臣として、経済界、各自治体や議会と粘り強く交渉を続け、父親・母親の産休規定を改善したり、結婚したい若い世代への支援を初めて「少子化社会対策大綱」で打ち出すこととなりました。

また、子や孫の結婚・妊娠・出産・育児に対する贈与を非課税にする税制優遇措置も実現することができました。

安倍総理は、日本の未来にとって、とてつもなく重要な任務を背負ったトップリーダーだと確信します。戦後70年という節目に閣僚を担わせていただいた経験を糧に、今後も子々孫々に誇れる、活力ある社会の実現に向けて取り組んで参ります。

感謝をこめて

有村治子

少子化対策の対談取材にて
(撮影: 榊 水麗)

大臣としての経験を糧に

女性活躍推進法の成立



目指せ、「理工系女子」!

期待の高まる国産航空機MRJの製作現場で活躍する女性技術者と意見交換。幅広い分野で活躍する女性の育成を目指し、経団連と共に理工系志望女子学生の進路選択を応援するイベントを開催。

この一年の歩みと謹んで
ご報告申し上げます。
感謝
有村治子



女性の地位向上、世界と連携

女性のエンパワーメントに取り組む国連機関「UN WOMEN」日本事務所の開所式に男女共同参画担当大臣として出席。国連機関の開設を機に、国際社会における日本の存在感を示すことを目指します。

出産・子育ての環境整備を



お父さんの働き方も改革

全国知事会・経団連と連携し、母親ばかりでなく、父親が産休を取得することを目指す「さんきゅうパパ プロジェクト」を始動。男女共に長時間労働の現状を是正し、お父さんの時間を家庭に戻すことで育児や家族をめぐる環境改善を図ります。



「子ども・子育て支援新制度」スタート

子ども・子育て支援新制度がスタートし、内閣府に「子ども・子育て本部」を設置。日本がもっと子育てしやすい国になるよう、社会全体でサポートする体制が始まりました。



子供の安心は私達共通の課題

元気いっぱいの子供達の育ちの現場で、率直な意見交換を重ねています。保育・幼児教育の現場の質の向上と量の拡充は、今後も粘り強く進めていかねばなりません。

全国の皆さまに「ありむら治子」とお書きいただき 3期目の議席をお預かりしています

全国の同志の
皆さまと共に



雪の中での街頭演説。
同志の応援に全国を走ります。



各地で講演を重ね、お聞かせいただく皆さま
の声が政策立案の糧になります。

子供の貧困は社会的課題であり、
食生活を子供達の人間形成につ
なげます。



国際社会への
発信力



国際会議の場で、日本
の成長戦略における
女性活躍の重要性を
世界に向けて発信。



女性活躍・公共トイレ改善などの施策について、
海外メディアも注目。

「女性が輝く社会に向け
た国際シンポジウム」で、
トイレ環境改善のための
会合を自ら提案。



美しい田畑、郷土に根付く日本の心は、
未来に向けて守るべき価値です。

子々孫々に
誇れる日本を



日本文化を象徴するきもの。
和装の振興に努めています。



小・中・高生によるそろばん訪米使
節団。日本の伝統文化・そろばん
を受け継ぐ子供達を応援します。

これからも
まっすぐに



政策の意図が正確に伝わるよう、積極的に
取材を受け、情報発信に努めます。



全国統一を提案したマタニティマーク。
妊婦さんと赤ちゃんを温かく見守る社会に。



国会人として、これからも歴史の評価
に耐え得る意思決定を目指します。



結党60年を迎えた自民党。党の中堅、責任
政党の一員として地道な活動を続けます。



参議院議員 比例代表 **全国区**

ありむら 治子

- 選挙区** 北海道から沖縄まで、全国47都道府県
- 生まれ** 昭和45年 おとめ座
- 出身** 滋賀県(石川県生まれ、ルーツは鹿児島)
- 性格** 前向きにチャレンジする天性の明るさ

平成13年、参議院議員選挙 比例代表(全国区)にて初当選(30歳)。「教育は国民性を創る礎」という信念のもと平成17-18年文部科学大臣政務官。歴代最も若い自民党女性局長を経て、環境政策の要となる参議院環境委員会委員長を務めた。平成25年、参議院議員3期目当選。平成26年9月、第二次安倍改造内閣及び第三次安倍内閣にて、女性活躍担当大臣など国務大臣(行政改革・国家公務員制度・規制改革・少子化対策・男女共同参画担当)に就任。家族：鉄道会社で働く夫と、子供2人。

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館1015号室
TEL 03-6550-1015 FAX 03-6551-1015
E-mail haruko@arimura.tv

お名前、ご住所等ご確認のお願い

お名前やご住所等に変更がありましたら、国会事務所までご一報下さい。有村と共に歩んで下さる全国の皆様に的確に情報をお届けできるよう事務所一同努めて参りますので、引き続きのご指導を賜りますようお願い申し上げます。